Date. 22 8 6 capo. 1

(Fm)

グラスボート

Em D Em D
☆不思議な空間が ガラス越しに見える

Em D Em D
心地よい薄暗さで 気持ちよさそうに泳ぐ

☆☆

Bm D
住めるはずもないとこなのに

Em G D A7
引き込まれる、、なぜなんだろう

Bm F#m G D
アクアリウムとは違う本物の世界だ

D G Em A
遠浅のサンゴ礁 覗く水の底に

D G A D
いくつもの命が かたまり生きている

カクレクマノミ イソギンチャクの上

気にもとめない スズメダイの群れ

みんな同じほうに リズミカルに動く

水に生きることも群れることは同じ

住んだこともないはずなのに

懐しいのはなぜなんだろう

テーブルサンゴの下から生まれた様な気もする

遠浅のサンゴ礁 こんなところに

いくつもの命が寄り添い生きている

カクレクマノミ イソギンチャクの中

長い付き合い そう 相利共生

(☆～☆☆)

No.
Date. '22 8 28

Capo.2 (ノーマル)
Capo.0 (オープンD)　(A)

水に流して

2 7

G Am D7 G　G Am D7 G

G　Em
誰にもめいわくかけずに

G　Em
ここまできたはずなのに

Am　G　C　G
かえってほとんどかまわれなかったことがさみしい

G　Em　G　Em
素直に甘えていたなら　もっと楽なはずだった

Am　G　C　G
小利口、才走り、あげくの果てには生意気

G　Am　D7　G
そんなつもりではなかったことを

G　Am　D7　G
切り返されて　はじめて気が付く

G　Am　D7　G
できることなら　水に流して

G　Am　D7　G
これまでの全て　やり直したい

No.
Date.

ノーマル + オープンD

本当はもっと気楽に

やればよかったかもしれない

大切なものは何だったのかわからなかった

流れを今とめるには難しいことに気が付く

独断、偏見、あげくの果てにはひとりぼっち

こんなはずではなかったことを

言い渡されて　はじめて気が付く

できることなら　水に流して

これまでの全て　やり直したい

No.
Date. '22. 9. 10

Capo.5

(C)

スーパームーン

Am7 G Am7 G

C　　　　　　　　　　　　Am
家の近く 買い物して 屋上の駐車場で

C　　　　　　　　Am　　　　　　　　Em
東の空 ふっと見たら 驚くほどスーパームーンが光る

G　　　　Am　C　　　　　　G　D
そうさあそことここは 果てしなく遠いのに

G　　　　　Am
何も遮るものないところで

C　　　G　　D
つながってる 見えてる

G　　　　　　　　　C
☆ 不思議だね 近くても 避けたいとこ見えないのに

G
もうどこにもいかない

C　　　　　　　　G
気持ちに ふたんかかるんだ ☆☆

ノーマル

No.
Date.

目の前のカップルが 月を見て思い出すように

それぞれのモバイル出し いくつかの画像撮りあってる

そうさあそことここは 果てしなく遠いのに

小さな画像の中では

何気ないカタチで とけこむ

不思議だね 近くても 避けたいとこ見たくないのに

遠くても行けなくても

残すほど見ていたいものなのか

(☆～☆☆ くりかえし)

No.
Date. '22. 8.29　　Capo.5　　(Dm)

遠い水の記憶

Am G Am G Am

Am G
遠い記憶 その頃には

Am G Am
誰もいかない 彷徨うように ひたすら

Am F G C E
晴れた海から やっと着いた

Am F G Am G
夕暮れ直近の シキ割の水に

C Dm7 F G
冷たく心地よい刺激が ノドを伝わり

C Dm7 F G C
生きてる喜びを感じさせてくれる

ノーマル

No.
Date. . .

斜面に張った布のテント

引き寄せるキスリングが濡れてた

明日のことは 何とかなるさ

次の水場をひたすら求めて

真黒の夜空は とても怖かったけど

仲間もいた若かった あの頃には戻れない

忘れていた素朴な 遠い水の記憶に

大切なあの頃を 思い出させてくれる

No.
Date. 21・9・28

Capo.2

(A)

夏の一コマ

G C D G

G A C G
じゅんさいの水沼に いくつかの箱舟

G A C G
水面に緑が浮かび その下覗く人たち

D
Em D D7 G
畦道を走る子供 白いアミ持って

Em D D7 G
足元の空の箱舟 ボールにしおからトンボ

C G Am G
時間がひとたび 昔に遡り

C G Am G
おソバの味の余韻を楽しむ

No.
Date. ・ ・

さくらんぼの畑の中で カゴを手にとって

赤い実を空にかざし そのまま頬ばる

向こうの木には家族が 同じほうを見上げて

差し伸ばす腕の下に 一人がカゴを抱える

時間がひとたび 昔に遡り

すっぱい味の余韻を楽しむ

No.
Date. '22. 9. 3

Capo 4
Capo. 1

(G#m)

簡素に颯爽と優美にイキイキと

Em C D Em C D

Em　　　　　Bm　　　　　C　　　　　Bm
水に生きるものたちも　傍目だけでわからない
C　　　　　Em　　　　D　　　　　D7
仲間たちとのやりとりがあるにちがいないはずだ

Em　　　　Bm　　　　C　　　　　Bm
人の社会もこの頃は　たとえ孤独な生業も
C　　　　Em　　　D　　　　D7　　　Em
繋がり合うのが大事と　見直されているワークスタイル

Em　　　C　　　　D　　　　Bm
群れることよりも　誰はばかることなく
Em　　　　C　　　　D　　　　Em
付き合いをなくして　気楽になろうとしても

Em　　　C　　　　　D　　　Bm
一人だけでできることに　限界感じて
Em　　　C　　　　D　　　Em
悔やんでしまっても　後戻りできない

G　　　Am　　D　　　Em
こういうのがいい　不満なことに
G　　　　Am　　　　D　　　　Em
合わせるだけでなく　問い続けてゆきたい

僕はこれからも　けして媚びない
良いと思うものだけ　追い求めゆきたい

No.
Date.

ノーマル＋オープン

水に生きるものたちも　傍目だけでわからない
異性とのつながりがあるにちがいないはずだ
人の社会もこの頃は　女だとか男だとか
問わないことが大事と見直されているライフスタイル

気遣うことより　お互いの言い分で
差別ないところで　同じように振る舞う
庇おうとすることに　反感さえ持たれて
後退りしても　なおさら気まずくなる

こういうのが好き　性別はどうあれ
支える人と支えられる人
支える人は簡素に颯爽と
支えられる人は　優美にイキイキと
こういうのがいい　妥協だけでなく
ときには向き合い　確かめてゆきたい
僕はこれからも　けして媚びない
水に生きるものたちと同じように